

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	集会施設整備補助事業	会計	一般会計	事業No.	2	施策順No.	71-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	2-1-5-11-1		
政策	7 自立・連携した地域づくり	課等名			地域づくり・庶務課		
施策	71 地域情報・課題の相互理解の推進	事業期間	開始	S56	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	単位自治会、常会等						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		対象団体数		638	638	638	638		
	意図	集会施設を整備する。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		整備件数	5	3	2	5	6	8	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		黒田研修センターにおいて雨漏りが発生し、補正予算により対応を行った。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	自治会、コミュニティ活動の拠点としての集会施設の整備を支援する。 飯田市集会施設整備事業補助金交付要綱に基づき経費の一部を補助する。(新築、増改築、購入等)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 集会施設の新築工事・増改築工事等に対する補助の実施 ・毛呂窪公民館への補助は、平成17年6月に締結した「飯田市一般廃棄物最終処分場に関する地域振興に関する協定書」第6条及び7条に基づくもので、辺地債を活用して事業を実施した。 ・「尾林上集会所(新築)」、「中村コミュニティ消防センター(増改築)」、「金山集会所(増改築)」、「代田公民館(増改築)」、「黒田研修センター(増改築)」について、所定の補助を行った。	新築 増改築	2件 4件
23年度実施計画	1 集会施設の新築工事・増改築工事等に対する補助の実施 ・「鳥屋同志集会所」の新築及び、「東平第4組合集会所」、「東二の上農業生活改善施設」、「上溝集会所」、「西平世代交流センター」、「東野自治会館」、「竹佐中平集会所」、「箕瀬町2丁目集会所」の増改築等について、所定の補助を行う。	新築 増改築	1件 7件

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	辺地対策事業 23,800千円
		県支出金					
		起債	23,800	23,800			
		その他					
	一般財源		9,211	9,210	15,038		
	計 (A)	33,011	33,010	15,038			
	正規職員所要時間		500				
	臨時職員等所要時間						
	人件費計 (B)		1,788				
	トータルコスト A+B		34,798				

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な自治会の施設建設に対する高額補助の強い要望がある。</li> <li>・施策No72「自立に向けた住民組織力の向上」に位置づけるべきとの意見がある。</li> </ul>
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織、地域住民、行政(市)が互いに、地域を取り巻く課題などの現状を共有すること。	施策の成果指標又はムトス指標	地域の現状(地域の課題、地域活動の内容)を共有できた住民の割合(%)
				0.617
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	集会施設の新築や増改築により、地域の自治活動の拠点である集会施設が使いやすくなることで、住民が集いやすくなり相互理解が図られるとともに、コミュニティの活性化に繋がった。		
	後期に向けた課題	地域のニーズと今後の人口減少に対応した制度の見直しが必要。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題	地域のニーズと今後の人口減少に対応した制度の見直しが必要。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	工事の発注については、入札を行うよう指導を行った。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	人口減少と高齢化が進む中で、地域の負担には限界があり、県内の状況からも妥当な補助率であると考えられる。		
	後期に向けた課題	地域の世帯規模に応じた補助が可能な制度への見直しが必要。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果た しましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政は どのような働きかけをしてきましたか、又は、 配慮してましたか	4年間の振り返り	事業主体は、自治組織である。		
	後期に向けた課題	事業実施のための意志決定や、事業の実施に地域住民の理解が十分確保されるよう配慮する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地域の要望については、現行の補助金交付要綱の範囲で対応を行った。		
	後期に向けた課題	地域のニーズと今後の人口減少に対応した制度の見直しが必要。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--